

放課後等デイサービス評価表

令和2年5月実施

こどもプラス青梅教室

| | | チェック項目 | はい | 判らない | いいえ | 回答及び改善目標 工夫している点など |
|----------|---|--|----|------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 10 | 1 | | 療育スペースは 64 m ² で青梅市では最大級の広さです。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 5 | 6 | | 児童指導員 1名 保育士 1名 障がい経験指導員 2名 運動保育士 3名 一般指導員 6名 合計 13名です。 |
| | ③ | 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | 7 | | 事業所開設時からバリアフリーになっています。 |
| 適切な支援の | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 11 | | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 7 | 4 | | 運動プログラムは1週間ごとに作成され、適時工夫しています。 |
| 保護者への説明等 | ⑥ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 11 | | | |
| | ⑦ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 11 | | | |
| | ⑧ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 9 | 2 | | モニタリングを実施しながら、適時実施しています。 |
| | ⑨ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 4 | 5 | 2 | 新型コロナが終息しましたら、年に3回は保護者会を開いて親交を深めたいと考えています。 |
| | ⑩ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7 | 4 | | 苦情担当社員、責任者を決めて適切に対応させていただいております。 |
| | ⑪ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 8 | 3 | | お気軽に相談しやすい環境を整えております。遠慮なく仰ってください |
| | ⑫ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | 6 | 1 | 今後は「青梅便り」という会報を毎月発行し、連絡やイベント情報をご提供させていただきます。 |
| | ⑬ | 個人情報に十分注意しているか | 10 | 1 | | 鍵付の書庫で厳重に管理しています。 |
| 満足度 | ⑭ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 5 | 5 | 1 | 年2回（2月と9月）に防災訓練を実施しております。 |
| | ⑮ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 9 | 2 | | |
| | ⑯ | 事業所の支援に満足しているか | 10 | 1 | | |

